

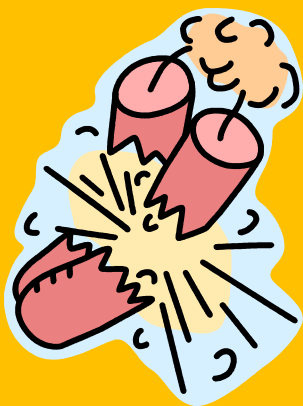


## 太平洋戦争



ぼくは、国語の勉強で発信しようという勉強をしています。そこでぼくは、太平洋戦争調べたことを発信しようと思います。ぼくは、その中で目を付けたのは、「軍事教練」です。この軍事教練では、小学生もやられていることがわかりました。ぼくは、このことが

現代で行われていたらと考えたら昔の厳しい生活よくわかります。ですが昔の子供は、この生活を乗り越えて生きていたのです。軍事教練は、気で作った銃や木刀などで人形をついたりして小学生は、訓練をしていました。あと、負傷者を運ぶ練習などもしていました。こんなことをさせた政府や軍部は、こういったらしです。「敵のアメリカ軍は、いつ日本攻めてくるかわからない。そのときは、国民も武器を持って戦うのだ」とこれを聞いたときは、びっくり



してしまいました。国民も戦争に参加するということは、今までよりも何倍かは、死者が出てしまうとぼくは、思いました。このように戦争が悪化して



いくと同時に日本とアメリカの沖縄戦争で日本は、負け終戦の決意をした。終戦時には、食料などが配給制だったけどここから日本は、奇跡ともいえる発展をとげてアジア初となるオリンピックを開いた。終戦から数十年でオリンピックを開いたことは、信じられないとぼくは、思います。ぼくが思う限りには、

日本は、すごいくにだと思えます。日本は、これかも戦争のない国であるといいです。これでぼくの発信は、終わります。最後まで読んでくださりありがとうございました。